

Fresh Talk

~ フレッシュトーク ~



オホーツク国際人材交流協同組合 Ly Hai Anh さん

「技^{（能実習生をサポート）}能実習生をサポートでせぬよ」と語るのは、オホーツク国際人材交流協同組合で4円からの通訳を務めるりハイアンさん。

出身はベトナムのハノイ市で、「小さいころから日本文化に興味があり日本に行きたかった。」といつ頼しか福岡県太宰府市の九州情報大学に留学し卒業後、縁があつてオホーツク国際人材交流協同組合で働くことになりました。現在の主な仕事は技能実習生の受け入れや、ビザの手続やなどの申請書類の作成だと話します。

両親に「日本に行きたい」といつ頼いを相談したところには「行ってよいよ」と私の夢を応援してくれました。日本に留学が決まった時は嬉しかったです。日本に留学が決まった時は嬉しかったです。」「来日したときの心境を語ついています。

「仕事では、経験が少なくわからないうじゅあります。専務や職場の皆さんに相談に乗ってください、アドバイスをいただきながら対応を考えたりしています」と周りの助けにとても感謝していると語ります。

「雄武町は親切な人が多く、住み始めた時も周りの人が引っ越した話を手伝ってくれました。タオさん（地域おこし協力隊）やベトナム人技能実習生の皆さんと雄武町で知り合いになり、ときどき一緒に料理をしたり、交流をしたりしています」と友達もできた様子。

最後に目標について伺つて「やつとたくさん勉強して、技能実習生のサポートがたくさんできるようになります」と雄武町の大きな架け橋になつたれています。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかけて、朝夕守りとおすることを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼まちのできごとで掲載しました観光協会のフォトカレンダーのサンプルをいただきました。フォトコンテストの写真を使用していることもあり、どの月も素敵な写真で見ごたえのある内容です。私が応募した写真も掲載していただいている。良かつたら探してみてください。(大辻)

◆編集後記 Editor's note

▼早いもので、あと1か月で令和2年も終了しようとしています。今年は新型コロナウイルス感染症の大流行で、たくさんの制限がある中での生活になっていたかと思います。来年は、気兼ねなく旅行など好きなことが制限無くできる年になってほしいものです。(結城)